

# その公共心は自立的か依存的か



自然いろシート普及委員会 長坂 治

# 有限会社まちづくり小淵沢

- 北杜市小淵沢町
- コアメンバー現在5名（変動あり）
- 平成19年1月スタート
- 複数の事業に取り組みながらまちづくり的活動
  - － 安全安心の食品小売業（ショップまちこぶ）
  - － 駐車場事業
  - － 過去に指定管理事業（駅前観光案内所・駐車場・トイレ）
  - － ソフト事業（情報誌など）

# 有限会社まちづくり小淵沢

## 活動を始めたきっかけ

- 私自身は、北杜市まちづくり計画策定委員会などに、一緒に取り組んだ方に誘われて。
- 会社自体は、経産省のTMOがきっかけ。

## 活動団体の体制

- 有限会社であるが、設立当初より今日まで、商工会や市の資本が25%ほど、残りは42名の市民で均等割資本。自立まちづくりの推進。

# 他の団体・個人との連携

- 八ヶ岳南麓風景街道の会（官民連携）
- 自然いろシート普及委員会
- その他の影響
  - 子どもの未来を考える会北杜
  - 一般社団法人山梨県建築士会
  - その他市民活動団体
  - 非公開コミュニティなど
  - リノベーションまちづくり

# 活動の成果、波及効果

- 情報誌づくりを通して、取材や事業創出など、様々なコミュニケーションが発生。情報と現実が並走する。
- 自然いろシートの販売や啓蒙で、コミュニケーションが多様に発生。利用者が次の啓蒙推進。

## 成功の要因(発展途上)

- 多様なコミュニケーションの発生。

## 活動を通じて学んだこと、得たこと

- コミュニケーションの発生はあるものの、短期経済活動との関連性を強めないと持続可能性が薄れる。
- 経済が伴わない場合、責任意識のズレが課題。

# 現状の課題に対する提案

## 活動の今後の展開

- 公共性のある事業でも、事業ごと短期的な収益計画を積み上げ、長期的な収益計画に発展させる。

## 現状の課題点

- ボランティア活動に対する責任意識の共有。

## 現状の課題に対する提案

- 自立まちづくり意識の普及と、経済活動への裏付け。

# 政策提案・行政担当者

## 行政の立場で考えられること

- 補助金など支援事業の再考や見直し。
- できるだけ市民が自立していける支援環境づくり。
- 自立や依存に無意識な公共心は、まちづくり活動の混乱をまねくので、市民の公共心と自立心を整理して、市民とのやり取りを考える。

# 政策提案・行政担当者以外

## 民間の立場で考えられること

- 自立や依存に無意識な公共心は、まちづくり活動の混乱をまねく。
- ボランティア的活動にも経済を伴わせて、責任意識を共有しながら、相互に自立的なまちづくり活動に取り組む。